

大阪市教育委員会 御中

防衛省作成の『はじめての防衛白書 2024』
の学校への持ち込みを認めないことを求める要請書

2025 年 12 月 10 日

子どもの権利・NGO 大阪 代表委員・運営委員一同

ウクライナ、ガザでの戦争が続き、戦火に傷つき、命を失う子どもたちがなお後を絶ちません。国際法を遵守して戦争が一日も早く終結するように日本の子どもたちと共に強く願うものです。

このような状況のもとで、防衛省は『まるわかり！日本の防衛～はじめての防衛白書 2024～』と題する冊子をアンケート用紙とともに全国の小中高生向けに初めて配布しました。その中で、「ウクライナはどうしてロシアに攻め込まれたの？」という問いを作り、「ウクライナの国を守るために十分な力を持っておらず、攻め込んでも大丈夫とロシアから思われたため、ロシアに侵略を思いとどまらせることができなかったのです。」として、「独立や平和、安全は自分自身の努力があってはじめて守られる」、「戦争が起きないようにするための抑止力が必要」と自衛隊の強化の必要を述べています。これは、戦争の経過や責任の所在、戦争解決への努力をあいまいにし、日本の軍事力強化に誘導し、子どもたちに誤った見解を押し付けるものではないでしょうか。日本国憲法の立場はもちろん、教育基本法や学習指導要領にも反するといわなければなりません。貴教育委員会においては、防衛省からこの冊子が届き、配布の要請があった場合どのように対応されたのか、以下の項目についてご返答ください。

- 1 防衛省から冊子の配布の要請はあったのでしょうか。その場合、各学校への配布についてどのような取り扱いをされましたか。
- 2 もし、配布した学校があればどこですか。直ちに回収すべきと思いますが、いかがですか。
- 3 防衛省は冊子とともにアンケート用紙も配布しているようです。各学校に活用を求めるアンケートだったと聞いておりますが、どのような内容ですか。
- 4 自衛隊の若い人たちへの勧誘が学校にも及んでいます。大阪市内の学校にはこうした事例はありますか。学校と子どもたちが軍事行動に協力するなどは絶対あってはなりません。貴教育委員会の見識をお聞かせください。
- 5 『子ども向けの防衛白書 2025』について、2024 年と同様の働きかけはありますか。あれば断るべきですが、いかがですか。